

<白金標準先物、売り込みの巻き戻しで 4011 円トライ・・・>



(出所：オアシス)

ISM 非製造業景気指数が 3 ヶ月ぶりに 56.7 と上昇を示し、イングランド銀行が 27 年ぶりに 0.5%の利上げを実施するなど、欧州通貨であるユーロが対ドルで強含みを示している。特に週末の雇用統計では、非農業部門就業者数が事前予想を上回るなど、景気に対する楽観論が強まるなど、景気商品である白金は強含みを示している。

ただロイターが行ったアナリスト 27 人によるプラチナ平均予想では、世界的な景気減退を理由に 2022 年第 3 四半期が 900 ドル、第 4 四半期は 914 ドルで、2023 年の平均価格を 1013 ドルと 3 ヶ月前の 1170 ドルから引き下げている。

しかし WPIG はプラチナ需要の観点からは、内燃機関（ICE）車の生産台数が減少しても、排ガス規制の強化とそれに伴う自動車触媒のプラチナ装着量の増加、更にパラジウムのプラチナ代替によって相殺されると予想している。

特に NY コメックスのプラチナ先物・オプションではショートポジションが 5.6%減少し 25.2 トンするなど 2 週連続で減少するなど、踏み上げを示唆する動きも示している。

そのため白金標準先物も CPI の発表以降は 4011 円を試す可能性は高まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル**が上昇しているが、ヒストグラムは過去の高値である水準に近付いている。RCI では**短期**と**長期**が上昇している。ただ日足が **10 日**、**40 日**、**200 日移動平均線**と乖離した水準であり、目先の調整安には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,537,000 円(2022 年 8 月 8 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 8 月 8 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>